

令和4年度 印西市家庭教育学級だより

# かてきょう通信 3月号

令和5年3月発行

「子育ては、自分育て」～家庭と地域の絆のために～



## 家庭教育学級へのご協力

## ありがとうございました

いよいよ3月。この『かてきょう通信』も、今年度の最終号となりました。お忙しい中、目を通していただきありがとうございました。

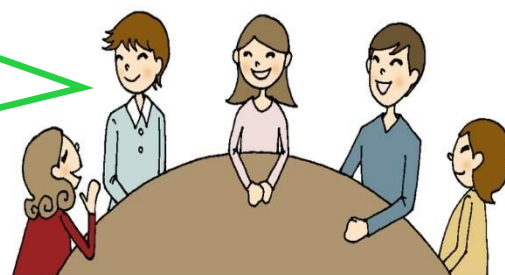
子どもたちは、4月に入園・入学し、この一年できっと大きく成長してきたことでしょう。また様々な悩みもあったかもしれませんが、そうした悩みを乗り越えて、『子育ては自分育て』という言葉のように、親も子も成長していくのだと思います。

家庭教育学級の運営では、役員の皆様や参加いただいた皆様のご協力で、コロナ禍での消毒や検温などの配慮をしながら、いろいろな講座を開催し、保護者同士のつながりを深めていただいています。心より感謝申し上げます。

2月16日(木)には、運営委員の皆様にお集まりいただき、研修会を開催しました。そこでは、一年間のまとめとして、良かった点や反省点などを資料として配布しました。ご協力ありがとうございました。今月号では、それらの意見から抜粋して、いくつかをご紹介します。今後の家庭教育学級をどう進めていくか、引継ぎなどの参考になればと思います。

(※吹き出しの文面は、いくつかの感想を総合して編集したものになっています。ご了承ください。)

講座開催後の参加者からのアンケートでは毎回大変好評で、充実した家庭教育学級でした。保護者同士のコミュニケーションの場となり、楽しく一年間終えることが出来ました。



シアターフォーラムなどでは、保護者同士の懇談があり、子どもとの向き合い方を考える、とても良い機会でしたが、参加者が少なく、残念でした。お知らせの仕方をもう少し工夫できればよかったと思います。

《裏面に続きます》



手指消毒・換気・ソーシャルディスタンスを徹底し、感染防止に努め、計画どおり開催することができました。

また、教頭先生には開催場所や時間など、いろいろとフォローしていただき、安心して運営することができました。

親子で参加できるもの、ハーバリウムやクリスマスリース作り、ピラティスなど、体験型プログラムを取り入れて計画しました。講座を通して、保護者同士の交流ができ、回を追うごとに親睦が深まりました。「参加して良かった」との声が多かったです。



子育てとは、親も常に子どもと共に学ぶもので、自分をより成長させてくれるものだと思います。

当たり前になっていること、自分の思い込みから一回離れ、柔軟性を持つ大切さが必要だということがわかりました。役員としても様々な勉強をさせていただきました。ありがとうございました。



この他にも、講座開催後、そのつど提出していただいている学習報告でも、いろいろなご意見ご感想を寄せていただきました。皆様から頂いた貴重なご意見を参考に、より充実した家庭教育学級が開催できますよう、今後とも、取り組んでまいります。



## 令和5年度 第1回 運営委員研修会のお知らせ

4月27日（木）10:00より 市役所にて(会場は後日お知らせします)

★令和5年度の家庭教育学級についての説明会を行います。

★担当になられた方には、改めて後日ご連絡いたします。

★あらかじめ、次の運営委員の方と、引継ぎをしておいていただくとよいかと思います。

### ◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 教育部生涯学習課 推進係(担当 嶋・海老原)

【電話】0476-33-4713 【FAX】0476-42-0033



子育ては自分育て

★「かてきょう通信」は、印西市ホームページでもご覧いただけます。  
印西市ホームページにて「かてきょう通信」と検索してください。